

我が青春の上級キャリアコース

経済学部経済学科 谷口勇太
(京都府立 宮津高等学校出身)

1. 大学入学前はどのように過ごしていましたか？

高校の硬式野球部に所属し、毎日野球に勤しんでいました。勉強面はというと、学内最底辺の成績であり、どうすれば成績が上がるのかわからずにいました。

2. 上級キャリアコースに入ったきっかけ・理由は？

大阪産業大学に入学したのは、第1志望の大学に合格できなかったからでした。それでもよい就職を実現したい、大学受験のときと同じような失敗は繰り返したくないと思って、いるとき上級キャリアコース(以下、上キャリ)と出会いました。同コースでは、私と同じような境遇であった先輩たちの多くが、最終的には一流企業に就職しているといいます。ラストチャンスに賭けるつもりで参加を決意しました。

3. 上級キャリアコースは厳しいのか？

意外なことをいうかもしれませんが、そう思ったことはありません。ただ、当たり前のことを当たり前にするということを前提とすれば、ということです。例えば、上キャリのHPには、求められる学生像として「4年間を勉強最優先で過ごせる者」や「仲間と一丸となって目標に邁進できること」など多岐に渡る条件が記されていますが、これらをすべてクリアできる人なら大丈夫です。なお、勉強最優先に関連して、コース担当教員の大谷先生が実施して下さる無料課外講義(放課後や夏休みなどに実施)にも参加するのが当然だと思ってください。

4. 上級キャリアコースで活躍するタイプは？

反骨精神を持った人。私たちが示唆しているように、どの大学に入るかがすべてではありません。大学に入った後、何をやるかが勝負なのです。つまり、大学時代の努力次第で人生は大幅に好転させることができます。しかしながら、多くの人はこのような認識の代わりに「大学の偏差値=今後の人生の成功度」のように思っています。でも、そう思った瞬間にゲームオーバーなのではないでしょうか。よい就職・進路を実現したいのであれば、もっと反骨精神を持って人生に立ち向かってください。その上で、実際に行動し、設定された目標を達成し続ける人ならコースで大いに活躍できるはずです。

ちなみに、何をやっても長続きしないタイプの人や言い訳が多い人にはまったく不向きなコースですし、周りの人にも迷惑になります。

5. 上級キャリアコースの強みは？

意識の高いメンバーだけで構成されていることから、設定された目標に対して団結して取り組もうという雰囲気が非常に強いです。結果、自主的な勉強会なども頻繁に行われますが、そこでの議論を通じて、高校時代はどうすれば成績が上がるのかさえわかっていなかった私が、最終的にはERE(経済学検定)でA評価を実現できました。

また、上キャリアといえば就職でしょう。過去何年にも亘って良好な就職成果を実現している結果として、コースの学生をバックアップしてくださるOB・OGの方がたくさんいます。私自身も実際に、一流企業にお勤めのOB・OGのみなさんから何度も就活の手ほどきを受けました。

6. 担当教員の大谷教授ってどんな人？

優しい先生。いつも学生一人ひとりを監視して見守ってくれています。大学における先生と学生の関係というのは、良くも悪くも高校の先生と生徒の関係と比べて淡泊なものです。しかしながら、上キャリアは違います。強烈に濃密です。より一般的な表現を使うとすれば、運動部のコーチと学生の関係に近いかもしれません。

こんな先生(方)と少人数クラス制という特徴が相まって、上級キャリアコースでは手厚いフォローが期待できます。そしてそのことが、良好な学業・就職実績に繋がっているのではないのでしょうか。もし、生まれ変わることがあったとし、上位大学に入れることがあったとしても、私なら再度上キャリアを選びます。そして、かけがえのない先生・仲間たちと再度青春を謳歌したいです。上級キャリアコース、我が青春でした。